

選ばれる会社になる 働き方改革の ポイント ④

いろいろ社会保険労務士事務所
代表 内川真彩美氏

今回は、働き方改革のはじめの一步である、現状分析のポイントを紹介しました。分析の結果、社内問題としてよく出てくるものの一つが「年次有給休暇の取りにくい」です。そこで今回は、休暇を取得しやすくなるヒントを紹介いたします。

従業員の有給取得

理由不問、1時間単位など工夫で取得率のアップへ

そもそも年次有給休暇とは「二定期間継続した労働者に対し、心身の疲労を回復しゆとりある生活を保障するため」に付与される休暇のことです。大きな特徴は「有給」である点で、取得日の賃金は減額されません。また、週1日勤務の従業員や正社員以外の従業員も、勤続期間と出勤率の条件をクリアすれば対象者になります。法人かどうかわかや企業規模、従業員数、就業規則等の有無は問いません。

前述の通り、年次有給休暇は「心身の疲労を回復しゆとりある生活を保障するため」のもので、原則は丸1日の取得とし、半日単位や時間単位での取得は任意となっています。2019年4月からは、年10日以上年次有給休暇が付与されている従業員に対して、年5日の取得が義務付けられました。年5日取得できていない従業員1人につき30万円の罰金が科されるほど、企業にとって厳しい制度です。今年、この件で書類送検された企

業が二ユースにもなりました。さて、皆さまの企業ではどのような取り組みをしているでしょうか。ここでは、休暇取得がしやすくなる取り組みのヒントを紹介いたします。

上司も積極的に取得をまずは、社内制度を大きく変えずともできることを2つ紹介いたします。

1つ目は、年次有給休暇の申請時に取得理由を不問にすることです。本来、年次有給休暇は理由を伝える必要もなく取得できる労働者の権利ですが、申請時に理由を必須としている企業はまだ多くあるようです。取得理由を不問にするだけで取得日数が増えた企業の事例は、私も複数、目にしていきます。

2つ目は、役職者や上司が積極的に休暇取得をすすめることです。上司が休暇取得しやすくなり、雰囲気をつくと部下も使いやすい雰囲気作れます。

次に、多少の手間はかかりますが、導入しやすく、導入企業も比較的多い社内制度を2つ紹介いたします。

1つ目は、年次有給休暇を1時間単位で取得できるようにすることです。取得できる時間数に上限はあるものの、丸1日より時間単位の方が休みやすいため、柔軟性も上がるためワークライフバランス実現の観点でも好評です。なお、この制度を導入するには、労使協定の締結と就業規則等の改訂が必要です。

2つ目は、年次有給休暇の計画的付与です。本来、年次有給休暇は従業員

制度を導入すると、従業員が自由に使える休暇を5日残せば、残りは申請せずとも事前に企業が指定した日に取得させることができます。導入企業では、年末年始等の長期連休の前後や飛び石連休、閑散期を指定しています。年次有給休暇の年5日取得が義務化されてから、この制度を導入する企業は増加傾向にあるとのデータも出ています。こちらも、労使協定の締結と就業規則等の改訂により導入が可能です。労使協定には、年次有給休暇を取得してもらう具体的な日付をすべて記載し、従業員にはその通りに休んでもらいます。

業務改善等で休みやすい職場へとはいえ、このような制度を導入したり、社内の雰囲気を変えたりと、誰かが休むと仕事が回らないようでは、年次有給休暇の取得は難しいです。そのため、これらの施策

だけでなく、業務改善や増員、配置転換等を組み合わせることでより休みやすい職場へと生まれ変わります。そこで今回は、業務改善の方法の1つでもある、システム導入についてのポイントを解説します。(月1回掲載)

内川 真彩美氏



https://www.ironori-sr.com

特定社会保険労務士。約8年半、IT企業でシステム開発に従事した後、社会保険労務士として開業。現在は前職の経験を活かしながら、企業の制度設計や働きやすい組織作りの支援を行っている。企業ウェブサイトや雑誌などへの執筆、講演多数。

バックナンバーCHECK

過去の記事から注目の内容をピックアップ！(2023年10月28日発行)

有機農産物 拡大なるか

見込でよ申バツ函々 シェア1%

農水省が認定した第三者認証機関に認証を受けたものでなければ「有機」と表示できなくなることや、いったんはマーケティングが難しく縮小したとされる。代わって台頭してきたのが、大手量販店が積極的に

品目	数量 (千、%)			価格 (千、円、%)		
	東京市場計	前年同月比	前旬比	東京市場計	前年同月比	前旬比
野菜総数	37,739	97	98	302	116	95
ダイコン	2,444	87	101	150	107	95
ニンジン	2,050	98	108	215	112	86

品目	数量 (千、%)			価格 (千、円、%)		
	東京市場計	前年同月比	前旬比	東京市場計	前年同月比	前旬比
ナガイモ	193	68	93	516	174	104
ニンニク	52	87	95	974	112	101
ネショウガ	83	112	104	561	107	96

東京都

か、都道府県にも推進の策定努力義務を課した。ただ、都道府県レベルはすべてが計画を策定しているわけではない。「有機農産物がない」等の理由で、2割程度に留まっている。